

## 海外農林業情報 No.52

### TPP 協定文書の公表と米国での批准手続き

TPP 協定文書が、11月5日に各国で一斉に公表されました。「ほぼ最終版」となっておりますが、英語、スペイン語、フランス語による正確な法的見直しに従うこととなっております。公表文は、前文と30章の協定文書、それぞれの章の付属となっている3つの市場アクセス表（関税譲許を含む物品に関するもの、政府調達に関するもの、ビジネス関係者の入国ルールに関するもの）、さらにそれぞれの二国間の特別合意に関するサイド・レターとなっております（これに関してはそれぞれの国での公表となっており、日本は21、一方、米国は61のサイドレターとなっているようです）。ルールの適用除外としては、サービス、投資、国営企業（SOE）に関して、それぞれの章の付属として、各国別に明記されていません。

これを受けて、米国のオバマ大統領は、同日中に、貿易協定交渉権限法（TPA）に基づき、議会に通報手続きをとりました。90日経過後（2016年2月3日）に協定への署名を行う権限が発生しますが、それまでに署名をめぐる議会での議論が繰り返されるのではないかと考えられます。さらに、署名後105日以内に国際貿易委員会（International Trade Commission, ITC, 大統領の諮問機関）が、米国経済への影響を分析することとなっており、それによる関連法案を議会に提出することとなっています。この105日の期間短縮を求めて、行政側も早くからITC事務局との情報交換を行っておりますが、ITC委員には業界関係者もおり、予断を許しません。105日間がフルに使われた場合は、批准に関する議会への正式提案は5月下旬以降となります。議会での協定批准審議の日程と、7月に予定されている民主および共和それぞれの大統領候補選定党大会との関係が微妙になってくると思われれます。

### トウモロコシ、大豆価格の急落

米国農務省（USDA）は、11月10日に恒例の世界農産物需給見通し（World Agricultural Supply and Demand Estimates）を公表しました。10月の公表で、ほぼ今年度の生産見通しが確定したと思われていたところへ、大幅な増産見通しとなったため、シカゴのトウモロコシ、大豆の価格が急落しました。トウモロコシでは、前回の見通しに比し、反収がエーカー当たり1.3ブッシェル（1ブッシェルは約25.4kg）、全体で99百万ブッシェルの増産となり、さらにエタノール利用が、石油価格との関係で75百万ブッシェル減となっております。また、大豆は、前回の見通しに比して、エーカー当たり1.1ブッシェル、全体で93.6百万ブッシェルの増産となっております。

文責：西野 俊一郎

<参考リンク>

TPP 協定暫定案文（ニュージーランド政府、英語）

<http://www.mfat.govt.nz/Treaties-and-International-Law/01-Treaties-for-which-NZ-is-Depository/0-Trans-Pacific-Partnership.php>

World Agricultural Supply and Demand Estimates（USDA、英語）

<http://usda.mannlib.cornell.edu/MannUsda/viewDocumentInfo.do?documentID=1194>

本情報のメール配信をご希望の方は、件名に『海外農林業情報配信希望』と記入した空（から）メールを下記までお送り下さい。ご意見、ご感想もお待ちしております。 E-mail アドレス：[desk@jaicaf.or.jp](mailto:desk@jaicaf.or.jp)  
メールを送付された方には、確認メールをお送りします。送信後2週間以内に届かない場合は、お手数ですが03-5772-7880（担当：西野・森）までお電話下さいますようお願い申し上げます。なお、メール配信をご希望の方には、本ミニ情報のほか、セミナーのご案内等、当協会からのお知らせが届くことがありますので、併せてご了承下さい。

**発行：(公社)国際農林業協働協会(JAICAF)**

**〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目10-39 赤坂KSAビル3階**